

かけ流し温泉で育つ「奥飛騨ドラゴン」

高山市奥飛騨温泉郷に本社を構える農業生産法人有限会社FRUSICでは、地域資源である質の良い豊富な温泉熱を活用して、トロピカルフルーツのハウス栽培を行っています。

冬期にはマイナス 15℃にもなる同地区ですが、クリーンエネルギーの温泉熱を利用することで化石燃料を一切使用しないCO2を排出しないエコ栽培を実践しています。

なかでも、生産されるドラゴンフルーツを『奥飛騨ドラゴン』としてブランド化し、新たな観光資源として、観光業と連携し地域活性を目指しています。

温泉熱を有効利用することで、ハウス暖房に使用する重油を年間約 90,000ℓ、CO2約 227 トンを削減することができます。

この活動に関わっている人数は平成 20 年度7名となっている。

マイナス 15℃まで冷え込む奥飛騨地方。奥飛騨ドラゴンここにあり！



【活動団体の紹介】

農業生産法人有限会社 FRUSIC(フルージック)

高山市奥飛騨温泉郷栃尾 952

Tel: 0574-25-7183

Fax: 0574-28-1555

E-mail: shoji@frusic.co.jp

WEB サイト: <http://www.frusic.co.jp/>

CO2排出量ゼロ 実施ハウス

温泉熱が骨材と反応して植物の成長に影響を与える。この熱交換システムを応用すれば、工場で生まれた熱資源を有効利用でき、工場と農場の併設が可能となる。



ドラゴンフルーツの花

夜だけしか花を咲かせない。花の観賞ツアー実施中



日本初品種のドラゴンフルーツ

医者要らずといわれるほど、ミネラルが豊富なフルーツです。



グリーンツーリズムを通して、子供たちに農業や自然環境を伝えていきたい。

